

從東京至青森
御休泊割及沿道各驛里程記
并
御還幸海路里程記



114
A 61



從東京至青森

合里數

百九拾壹里貳丁餘

內

從東京至福島

七拾里貳拾九丁餘

從福島至仙臺

貳拾壹里三拾五丁餘

從仙臺至盛岡

四拾七里貳拾三丁餘

從盛岡至青森

五拾里貳拾貳丁餘

大正十一年四月贈

大藏省

御泊 貳拾八ヶ所
御駐輦 十五日

御休泊割及七沼道驛名里程表

地名	每地間ノ里数	雜記
東京	二里四丁七間	大橋アリ隅田川ノ上流ニ架ス
千住	二里七丁辛酉間	別路ヲ東ニ達ス陸前濱街道是レナリ <small>四名水ノ行 道ト稱セリ</small>
草加	一里三十三丁三間三尺	千住草加間ヲ東京府ノ境界トス
越ヶ谷	二里三十三丁八間四尺	大沢町ヲ越ヶ谷ニ連接ス故ニ人或ハ越ヶ谷驛ヲ 知ラ大沢驛ヲ知ラサルナリ
粕壁	一里二十九町三間四尺	
杉戸	一里十八丁三三間三尺	
幸手	二里三十三丁二間一尺	
栗橋	五丁十七間三尺	栗橋中田間ニ房川 <small>乃利アリ</small> 渡船此川ノ中央ヲ 以テ武藏國埼玉縣ノ境界トス日本三大河ノ一ナリ土人 以下総國茨城縣ノ境界トス

△号御畫
○号御泊

〔欄外〕横層セシ里数ハ一日程

雜記

御休泊附号
及兩地ノ里数

△

○

△

○

十里五丁

十里二十九丁

十里十丁

○	△	○	△				
宇都宮	雀ノ宮	石橋	小金井	羽川	小山	野木	古河
二里二十五丁四尺	二里六丁四尺五寸	一里二十丁九寸	一里二十丁三寸九寸	二十八丁二寸五分	一里十八丁十寸五分	一里三十三丁四寸五分	二十八丁五寸九分
城アリ戸田氏ノ故居ナリ旧知七万七千八百石					路ヲ朽木 <small>朽木縣在處地</small> ニ達ス其距離二里許此處南ニ筑波山前ニ日光山ヲ望ム	側ニ延延寺ト云フ寺アリテ熊沢番山ノ墳墓アリト云	城アリ土井氏ノ故居旧知八万石此地ヨリ十丁程
						下総國茨城縣ノ境界ノ古河野木ノ間ニアリ	多ク鯉鯉鰻等ヲ渙ス此地ノ名産ナリ

○	△	○					
依久山	喜連川	氏家	白沢	阿久津	今市重	御還幸	宇都宮
一里三十八丁六分	二里三十三丁五分	一里三十三丁五分	二十九丁五分	二十九丁五分	○日光中二日	御道筋同前	○宇都宮重寺 徳二郎 重半 △大沢里 三三丁車ヲ通レ得レシ而
喜連川ノ間ニ内川アリ水碓ニ由テ渡船或ハ	ナリ此地銘ノ名物ニ味最モ美ナリト云	喜連川氏ノ故居アリ足利ノ後胤大馬頭家	白沢ノ間ニ鬼奴川アリ渡船水少ク橋ヲ架	河久津ノ間ニ鬼奴川アリ渡船水少ク橋ヲ架	今市重 日光中二日 御駐車路ノ名 今市 日光 慶長十五年	石曰○宇都宮 奉クルル片徳川秀忠此	巡ヨリ引返セシナリ戊辰ノ役教度ノ戦地
			ト云モ此城ナリ	正統鈞天并ヲ以テ徳川家光ヲ謀殺セントセシ			トナリ城ハ勿論市中近兵火ニ罹レリ本多ス

六里二十町余

○	△	○	△		
宇都宮	雀ノ宮	石橋	小金井	羽川	小山
二里二十五丁四尺	二里六丁間五尺	一里二十丁九間	一里二十丁三九間	二十八丁二十間三尺	一里十八丁十間五尺
城アリ戸田氏ノ故居ナリ旧知七万七千八百石				路ヲ朽木 <small>朽木縣在處地</small> ニ達ス其距離二里許此處南ニ筑波山前ニ日光山ヲ望ム	

多ク鯉鯢鰻等ヲ漁ス此地ノ名産ナリ

古河 城アリ土井氏ノ故居旧知八万石此地ヨリ十丁程

野木 側ニ銚延寺ト云フ寺アリテ熊沢善山ノ墳墓アリト云

間々田 下総國茨城縣ノ境界ハ古河野木ノ間ニアリ

小山 路ヲ朽木朽木縣在處地ニ達ス其距離二里許此處南ニ筑波山前ニ日光山ヲ望ム

羽川

小金井

石橋

雀ノ宮

宇都宮

日光山ニ至ルニ其距離九里三丁車ヲ通シ得一し而シテ其沿路ノ駅名 徳次郎 大沢 日光 慶長十五年 石田三成兵ヲ関西ニ率クル日徳川秀忠此処ヨリ引返セシナリ戊辰ノ役救度ノ戦地トナリ城ハ勿論市中迄兵火ニ罹レリ本多正統釣天井ヲ以テ徳川家光ヲ謀殺セントセシト云モ此城ナリ

七里四十町余

○	△				
依久山	喜連川	氏家	阿久津	白沢	
一里三十八丁六間三尺	二里三十三丁五間三尺	一里三十三丁五間三尺	二十九丁五丁間三尺	二十九丁五間	
喜連川ノ間ニ内川アリ水吊ニ由テ渡船或ハ	ナリ此地銘ノ名物ニ味最モ美ナリト云	喜連川氏ノ故居アリ足利ノ後胤左馬頭家	白沢トノ間ニ鬼奴川アリ渡船水少ナク橋ヲ架	道ヲ日光ニ分シ其距離九里三丁車ヲ通シ得一し而シテ其沿路ノ駅名 徳次郎 大沢 日光 慶長十五年 石田三成兵ヲ関西ニ率クル日徳川秀忠此処ヨリ引返セシナリ戊辰ノ役救度ノ戦地トナリ城ハ勿論市中迄兵火ニ罹レリ本多正統釣天井ヲ以テ徳川家光ヲ謀殺セントセシト云モ此城ナリ	

喜連川ノ間ニ内川アリ水吊ニ由テ渡船或ハ

ナリ此地銘ノ名物ニ味最モ美ナリト云

喜連川氏ノ故居アリ足利ノ後胤左馬頭家

白沢トノ間ニ鬼奴川アリ渡船水少ナク橋ヲ架



越

堀

二里五丁四十五間

鍋

楯

十丁十五間五尺

大田原

三里二十丁五尺

高三千五百石
架橋那須七騎ノ一人福原ヨリノ知行所也

大田原氏ノ故居ナリ久保村野間村ノ邊及

路ナリ蛇尾川アリ假橋ヲ架ス余甚川橋アリ

那須七騎ノ一人ニテ旧知老万四千四百石那須野

怪談殺生石此原ニテ原ノ終ル処山ナリ那須ヤ云

武士ノ矢並ツクロフ小手ノ上ニ霞タビル那須ノ

竹篠原 源実朝

鍋楯越堀ノ間ニ中川アリ水ニ由テ渡船或ハ

架橋即今ハ假橋ヲ架ス

大田原ヨリ芦野ニ至ルノ間原野那須野ニ

連ル此間攻路多シ就中寺子村ヨリ芦

野ノ間甚タシ無レトモ車ヲ通スル難カ



蘆

野

三里十四間五尺

ラス

那須七騎ノ一人芦野主膳ノ知行所高三千石

余此所ノ北一町ハカリ道ノ辺ノ清水アリテ

遊行ノ柳アリ道ノ辺ノ清水流ル柳カケヒト

テコソ立止リツレ西行 茲ラ非ルニ里餘境町

神ノ社アリ此地ヲ下野 福島縣ノ境界トス此

辺小坂多シ里俗呼ラ七嶺二十三坂ト云フ然

レテ稍車ヲ通ス境明神ヲ白川ノ関ト云ハ誤

リニテ此街道ハ徳川家康會津ノ上杉征伐

中関キシ道ニテ秋風ソ吹ク白川ノ関ト能因法

師ノ詠セシハ此所ニ非ス則今関山ト云関明神ノ

アル処ト云 都ラハ霞ト共ニ出シカト秋風ノ吹

ク白川ノ関 能因法師

五里八丁



二本松

二里六丁七間一尺

本松ノ間ニ峻坂アリ空車ナラサレハ通シガ
タシ

城アリ丹羽氏ノ故居ナリ近時城趾ニ製糸場
ヲ開ケリ此城戊辰ノ役兵火ニ罹ル市中ノ寺

ニ官軍戦死ノ墳墓アリ此地西ニ大山アリ安達

太郎山ト云東河武隈川ヲ隔テ安達ヶ原黒塚

ノ名區アリ安達ヶ原今ハ皆開ケテ總皇塚

ノ古跡ヲ存セリ往昔此處ニ鬼住ニテ人ヲ殺

セリト云傳フ一説ニハ悪婆アリ旅人ヲ殺シテ

旅銀ヲ奪ヒシ故ニ鬼ト云フ

陸奥ノ安達ヶ原ノ黒塚ニ鬼コレト云ハ誠カ
陸奥ノ鬼ヲ鷹ヲ手ニス一テ安達ヶ原ノ行ハカチ
録留信師

八町目 一里十七丁二十間一尺

清水

一里二十丁三間三尺

福島駅口須川橋アリ信夫橋ト云フ



福島

一里二十丁五十九間

福島縣在廳地ナリ城アリ板倉氏ノ故居ナリ

此地方ヲ以テ吾邦養蚕ノ本場ト称ス深川川

又等ノ名區モ遠カラズ各養蠶織物ニ富ム恐

文字摺ノ産物アリ置賜縣權令新庄存信若取

縣令沢筒徳盤前縣令村上光雄ヲ召サル

ニ宜シ駅北ニ信夫山アリ駅東五里余靈山ト云

山ナリ北畠頭家ノ城趾ナリト云フ駅ノ中央

ヨリ道ヲ分テ米沢ニ通ス河武隈川駅後ヲ

流ル市中ニ戊辰ノ參謀長藩世良修藏ノ墳

墓アリ縣社黒沼神社西ニ当リテ五里妻ヶ岳ア

リ米沢會津ノ境界此處ニ温泉教所アリ

信夫山ハ信夫草ノ名産ナリ

米沢ノ山ニ惡ヒテ通フ道モカフ人ノ心ノ奥モミルベク
恐フ山マタトカタニ通モカナリヌル跡ハ人モツシム
兼好

瀨ノ上 一里十三丁九間四尺 西北一里十三丁余ニシテ飯沼村ニ温泉敷所アリ
 福島市駐輦中二日此間鑛山為序覽 盛ナリ此村口ニ川アリ近時洋風
 奈折 行幸同所所昼休再福島へ 頗心美観ナリ
 還幸序泊 幸折ノ上ニ△アリ

△藤田 一里十三丁三十四尺

必心フ山シノフトスレド中ニ色コヲミレテ峯ノモミテ
 陸奥ノ忍フ文字摺註ユニ乱レ深ニシレラナクニ 詠人不知
 所謂半田村ノ銀山ナリ
 岩代 福島 鑛城 縣ノ境界ハ藤田ヲ距ル一里余北
 方貝田村ニ在リ貝田村ニ至ル間國見峠アリ駅
 ヲ距ル一里許義經ノ腰掛松ト云老樹アリシニ
 今枯セラ其根ヲ残スト云藤田ト越河ノ間ニ宝
 帯ノ関 土人伊達ノ大ホト云
 下紐ノ関
 東路ノハルケ道ヲ行メクリイワカクキ下紐ノ関 大皇孫高皇
 亮ニテライク夜重子ヲ旅取ケテコリコレ下紐ノ関 詠人不知
 立降リ又マ湧ラシ今膏サハ心モトケ又下紐ノ関 同上

越河 一里十四丁五十八間
 齋川 一里十九丁四十九間

下紐ノ関ハ田村丸ノ建テシ関ナリトソ源頼朝
 秀衡征伐ノ中此処ニ東西數十町ノ二重海ヲ
 掘リテ大ナルホヲ建テシ故大本ホト云ト思フ
 ニ頼朝ノ掘リタルニハ非スシテ頼朝ノ大軍ヲ防
 カシ為メニ錦戸太郎兄弟ノ掘リシモノナラシキ
 錦戸太郎ハ秀衡ノ庶子ニテ此処ノ大恃トナリ
 畠山重忠ト曾戦セシト云
 五賢村ニ至ル間古ヤシキ及平村ヨリ齋川
 ノ間放屁坂鎧摺坂アリ
 中目村ノ間ニ鳥居坂中目村森合村ノ間ニ
 新館坂アリ此齋川ニ蜈蚣ニ似タル小虫ニ産
 ス土俗孫太郎虫ト呼ブ小兒ノ疳疔ニ用テ効
 能アリト云フ

藤田一里三十三丁三十四尺
 桑折一里六丁十間
 瀬ノ上一里十三丁九間四尺

瀬ノ上	一里十三丁九間四尺	且心フ山シノフトスレド中々ニ色コソミエテ葎ノモミテ 陸奥ノ忍フ文字摺誰ユニ乱レ流ニシワレナクニ 詠人不知 西北一里十三丁余ニシテ飯沼村ニ温泉教所アリ リ浴客常ニ盛ナリ此村口ニ川アリ近時洋風 ノ釣橋ヲ架ス頗ル美觀ナリ
桑折	一里六丁十間	桑折ヨリ羽州街道ヲ分ツ取ノ西北ニ半田山アリ リ所謂半田村ノ銀山ナリ
△藤田	一里三十三丁三十四尺	岩代 福島 縣ノ境界ハ藤田ヲ距ル一里余北 方貝田村ニ在リ貝田村ニ至ルノ間國見峠アリ取 ラ距ル一里許義經ノ腰掛松ト云老樹アリシニ 今枯レテ其根ヲ残スト云藤田ト越河ノ間ニ室 帯ノ関 土人伊達ノ大本陣ト云 下組ノ関 東路ノハルケキ道ヲ行メクイワカクキ下組ノ関 太皇太后御 幸ナラシメテ夜重子ヲ旅衣ケテエリコレ下組ノ関 詠人不知 立降リ又マ淵ヲシ今宵ナニ心モトケ又下組ノ関 同上

越河	一里十四丁五十八間	下組ノ関ハ田村丸ノ建テレ関ナリト源頼朝 秀衡征伐ノ中此処ニ東西數十町ノ二重海ヲ 掘リテ大ナルホヲ建テレ故大本陣ト云ト思フ ニ頼朝ノ掘リタルニハ非スレテ頼朝ノ大軍ヲ防 カシ為メ錦戸太郎兄弟ノ掘リシモノナラシキ 錦戸太郎ハ秀衡ノ庶子ニテ此処ノ大恃トナリ 畠山重忠ト曾戦セシト云
齋川	一里十九丁四十九間	五賀村ニ至ル間古ヤシキ及平村ヨリ齋川 ノ間放屁坂鎧摺坂アリ 中目村ノ間ニ鳥居坂中目村森合村ノ間ニ 新館坂アリ此齋川ニ蜈蚣ニ似タル小虫ニ産 ス土俗孫太郎虫ト呼ブ小兒ノ疳ニ用テ効 能アリト云フ

御駐輦
中五日

十里三十一

七北田	二里十九丁二丁間一尺	仙臺	一里三十四丁五十三間	長町	一里三十八間四尺	中田	三十九丁三丁間五尺	増田	二十五丁三丁間一尺
-----	------------	----	------------	----	----------	----	-----------	----	-----------

廣瀬川橋
宮城縣在廳地 塩竈松島ノ勝區其他多賀城ノ
碑等教所ノ名地アリ塩竈ニ至ル四里道路平坦
車行ニ宜シ松島ハ塩竈ヲ距ル四里舟行最
妙ニシテ陸行甚々佳ナラス松島ヨリ三本木ニ達
スル路アリ其程四里半許然レ凡道路甚々惡シ
城アリ伊達氏ノ故居此地鶴ヶ岡縣令ニ島通庸
山形縣參事薄井龍之ヲ呼ニ宜シ此地種々産物
アリ仙臺平織物ヲ以最一トス埋木ノ細ユモ推趣
アル名産ナリ

此駅ト仙臺ノ間ニカナル壺坂アリ又富谷ノ間ニ休

目録廿三丁

御十丁

白石	一里三十三丁三丁間一尺	宮	一里三十三丁三丁間一尺	金ヶ瀬	二十九町九間	大河原	一里三十三丁三丁間一尺	船迫	一里十八丁二十五間	槻木	一里二十七丁三十間	岩沼	一里三十五丁三丁間一尺
----	-------------	---	-------------	-----	--------	-----	-------------	----	-----------	----	-----------	----	-------------

白石ハ故仙臺家元行倉集ノ故城アリ紙
布ヲ産ス白石川アリ假橋ヲ架ス刈田山
左ノ方ニ城々ナリ

宮大河原ノ間ニ磐城國境アリ觀音坂新
坂採林坂アリ

長坂ニツ坂赤坂アリ

槻木ノ間ニ岩木及出子坂アリ

岩沼ニ於テ陸前濱街道千住ニ於テヲ合ス曰
仙臺ノ臣古内某ノ故館アリ此旦ニ至ルト河武浪
川順ル巨大トナレリ竹駒稻荷ノ神社アリ近郷
ノ大社ナリ

宮野	築館	荒谷	古川	三本木	吉岡	富谷
一里三十三丁三間三尺	二十一丁十九間	一里二十三丁三間三尺	一里十三丁五間三尺	一里十七丁三間三尺	三里十四丁十間三尺	一里十九丁四間
城生野村富村ノ邊坂路アリ姉齒松	富場村下宮野村ノ間坂路アリ荒谷ヨリ此地ニ至ル迄數々坂路ヲ過ク土俗呼テ四十八坂九十九回十四橋七平ト云フ	荒谷ヨリ築館ニ至ル坂路所々ニアリ	古川ヲ距ル一里余狐塚村ニ磐井兩縣ノ境界アリ	高低多シ	吉岡ヨリ三本木ニ至ル間大衛村伊賀村道路	此間小坂アリ舞野川橋アリ

大 藩 名

前沢	磐井	有壁	金成	沢邊
二里二十八丁四九間	三里二十八丁五九間	二里三十五間三尺	二里二十七間三尺	二十丁五十四間三尺
山中尊寺ト云ハ一山ノ總名ニシテ寺院多シ古ヨリ少	尊寺ハ清衛以來墳墓ノ地ト為セシ者ト見テ抑岡	故趾義經ノ館趾ハ五丁程高クテリ金色堂其	九ノ建立ト云宝物種々ノ中古物ノ面多シ此邊ニ	泰衛ノ首塚アリ

大 藩 名

シキ堂塔アリシヲ藤原清衡鎮守府將軍トナリテ
 基衡秀衡父子二代ノ間ニ堂舎ヲ建立セシ者ニテ世
 知ル如クアリシ者ト士人ノ云傳フルナリ今ハ昔ニ愛
 ハリテ大ニ衰ヘシト見ユ中尊寺度々ノ田録ニ罹リテ元
 リ堂經堂ノミ昔ヲ残シ何トナリ古ヲ思フノ情
 アリ光リ堂金色堂ト稱シテ天仁二己丑ノ年清衡
 ノ建立堂中悉ク金竹泊ヲ出シテ金色トセシ故ニ
 金色堂ト名ツクル乎星霜ツモリ今ハ漸々衰カシ
 コニ金色ノ残レルアリ上檀ニ河瀆池如未ラ安置
 中檀ノ内清衡ノ棺アリ大治元丙午七月十七日辛
 ス左リ壇ノ内基衡ノ棺アリ保元二丁丑ノ三月十九日
 辛ス右壇ノ内秀衡ノ棺アリ文治三丁未ノ三月
 廿八日辛ス秀衡ノ棺ノ側ニ和泉三郎首禰アリ

清衡ノ太刀二尺余基衡ノ刀一尺六寸余秀衡ノ
 刀一尺六寸余其外宝物数多シ

春過テ夏ノヒトニナリナカラ衣ノ宜ハ名ヲカラテ
 モロ共ニ純マシモラ陸奥ノ衣ノ同ヲ森所ニキリカナ
 千リカニ紅葉ノ錦ウニキテ衣ノ同ヲ越スル後人
 サクラ色ニ四カ出流テケリ衣ノ同ノ春ノ曙
 衣川見テシ人ノ別ニハ袂マテコリ涙ハ未ケリ
 浅カラス思フニ衣川カニ瀬ニコソ神隱ケリ
 源堂之
 案スルニ頼義父子安部堂ヲ征伐ノ時貞任
 カ籠城シテイトミ戦シ衣ノ館衣ノ冊ト称セシハ今ノ中
 尊寺ナルニ貞任落城シテ此ニ走ニ義家逃ルラ追
 衣ノタテハホコロビニケリト歌ノ下ノ句ヲ讀カケシカ貞
 任駒ノ頭ヲ返シ年ヲ経テ系ノミタレノ若シサニト
 ヲミシモ此處ニヤアルシ
 衣川ニキテヨリノタナニハキシヨカ子洗子ナリ 西行
 辨慶討死セシト云所ハ今ニアリ中洲トナリテルシ

御駐輦
中二日

御十七丁

○	△	花卷	郡山	四里三十三丁十間	四里二十三丁五間	此地ニ維新迄南部ノ持城アリ	盛岡駅口北上川アリ橋ヲ架ス明治橋ト云フ
○		盛岡		四里二十三丁十間		此川ハ石ノ巻ニ至テ海ニ注ク東北ノ大運河ナリ	郡山ヨリ盛岡ノ間松ノ並本甚々佳趣アリ郡山
						ノ上ニ御所館ト称スル古城跡アリ郭内廣シ北	上川ノ大河麓ヲ廻リ要害ノ地ナリ惟フニ皇代
						宗任ノ父安部頼時ノ柵跡ナルニ	盛岡ハ岩手縣在廳地ナリ城アリ南部氏ノ故居
						東京ヨリ此地ニ至ル捐人カ車ヲ通ス然レ元是	ヨリ以北ハ絶ラナシ駅西南ニ岩鷲山ト云高山アリ
						雲霧峯ヲカリストキハ駿州富士ニ似タリ世ニ奥	富士ト云此地ヨリ南北ニ南照山ト称セル山アリ
						厨川ノ古城跡ハ岩鷲山ノ麓ニアリ此地秋田縣	

御十七丁

○	△	水沢	黒沢尻	一里二十丁四七間	三里八丁三十九間	松アリ土人此処ヲ送り川ト云抑此関山中尊寺ハ仁明	典寺及寺ノ小及多シ
		金ヶ崎		二里三十三丁十六間		天皇御宇喜祥ニ庚午年慈覚大師開基ナリト云	寺院諸堂数多アリ
						伊沢川渡船栗駒岳西方ニ在リ	金ヶ崎黒澤尻ノ間鬼柳村ニ磐井
						アリ此間小坂多シ三ヶ尻村ヨリ相去村向坂上北	方ヲ眺望スレハ景色佳シ水沢ト鬼柳ノ間街道ヨリ
						五町余鎮守府ノ旧地アリシルシノ石ヲ存シハ	アリ松樹繁茂シ北ニ膽沢川流シ東北上川
						要害ノ地ニシテ鎮守府ヲ置キ地ナリ八幡ノ宝	物頼義家奉納ノ太刀一振矢ノ根立ナリ
						黒沢尻ヨリ花巻ノ間ニ赤坂伊勢改成田瑞	

御下

御下

治宮内

四里三十三丁七間

△

浪

民 四里二間

權令石田英吉ヲ呼フニ宜シ

船手ノ内

人目ニシテ船手ノ内ハカタクシトモシキフハトミヤケリ
ヲモトモ船手ノ山ニ年ヲ経テ松ノ果ヲ谷ノ理本 頭補
ニチノクノ船手ノ森ノイノミラモラケルノモアラス
ニメノイノカラカタクシトモシキフハトミヤケリ 二言記作

盛岡ヨリ此駅ニ至ルノ間座頭コトシ坂小野坂カ

ケノ山ニツク驅ケアカリ坂等アリ浪民ト治宮ノ間空

平ノ松ト云古本アリ土人垂松ト云名本ナリ

此駅ヨリ中山ノ間ニ四ツ又坂アリ又弓削清水涼

頼義ノ古跡アリ頼義賊ヲ逐テ此地ニ至リ口温

シテ水ヲ求ムレテ水ヲ得ス因テ其方ノ苦ヲ以

テ岩ヲ振ケレハ清水湧出シ一軍渴ヲ止ト云今觀

音堂アリ村名ヲ桂清水ト云治宮内ト小繫トノ

間ニ三覺院ト称スル寺アリ種々ノ宝物多シ本

御下

○

一

戸 一里三十三丁三十九間

△

小

繫

三里四丁三十間

尊十二面觀音聖徳太子ノ作ト云社ノ傍ラニ

口ノ廣サニ尺五寸ノ釜アリ八幡太郎義家ノ奉

納ト云古ノ津釜ナラン乎

小繫ハ駅ニアラス僅ニ御体所ヲ辨スルノミ治宮内

ト此地ノ間ニ陸中 岩手 青森 縣ノ境界アリ中山嶺日影

坂白子坂等ノ險路アリ

一戸ヨリ福岡ノ間ニ浪打峠アリ之ヲ別名トシテ末

ノ松山ト称ス古歌ニアル末ノ松山則之ナリトト仙

臺ニアル末ノ松山ハ政宗ノ移シテ名ケシナリト云福

岡ノ入口ニ九戸政実 南部ノ一族ノ城趾アリ此人本家

南部ニ及キシニ因テ豊臣氏ヨリ天正年中前田利

家浦生氏郷淺行長政等ニ命シ五万ノ兵ヲ以テ

攻メ落セシ城ナリト云

△	○	△	○	△	○	△	○
三本木	藤島	傳法寺	五戸	浅水	三戸	金田	福岡
二里三丁三十四間	一里六丁十五間	三十三丁三十四間	一里二十三丁十五間	一里十八丁十四間	三里十八丁十四間	三里二丁十四間	一里二丁十四間
此地二千年前畷岡藩ノ臣新戸部ハ者岡壑ヲ			五戸川橋ヲ架ス		三戸ヨリ五戸ニ至ルノ間ニ高山段アリ其嶺ニ於テ東北ノ海ヲ見ル此地ヨリ八ノ戸ニ至ル道アリ即チ八ノ戸南部氏ノ旧城下ナリ	流ナリ此地ハ虫類ノ化石ヲ生ス	山ノ谷チラ変ス故ニ名ツクト云
					金田一ノ間ニ長瀬坂アリ馬河川アリ橋ヲ架ス志	西北ニ七時雨ノ望ム日ノ間晴雨無定七田其	福岡ヨリ三戸ノ間ニカ坂及竹林坂アリ此地ヨリ

○	○
七	七
戸五里七丁三十三間	戸五里七丁三十三間
為シ始メテ此駅ヲ建ツト云四五年前旧斗南ノ士族三百餘戸ヲ移シテ数万ノ米金ヲ給典岡壑ヲ為セシ事アリ又方今野地頭ト云処ニ同士族廣沢安任ハ者官金万餘ヲ拝借シ蕪蔴萬箇土人ニ名ヲ傭ヒ專ラ牧牛ニ尽カセリ此地例年五月ヨリ馬市ヲ開ケリ	七戸ノ南部地方良馬ノ地ト称ス馬市アリ此地ヨリ野地ニ至ル間多クハ曠原ニシテ御休所ナシ此地末家南部氏ノ城跡アリ七戸ヨリ野邊地ニ注ク半途ニ坪村ト云小村アリ此村ニ千弐ノ神社ト云社アリテ田村將軍ノ建テラレシ日本中央ト記セシ碑ヲ建メテ祀リシト云傳フ世ニ所謂坪ノ石牌ハ是ナリトゾ

野邊地	四里十三丁十四間	此地ヨリ田名部松平客保轉封ノ地即チ斗南ナリ大間ニ道ノ分テ函館渡海ノ別地ニ達ス此道ニ出レハ函館海上僅ニ六里然レテ寄艦安全ノ地ニアラス又道路殆ント沙漠ヲ涉ルニ同シ此港豆或ハ味噌ヲ多ク北海道ニ廻漕スト云
小湊	四里十九丁三十三間	架木楸及子ノ坂アリ嶮ナラス浅虫村温泉アリ此地ハ御休憩ヲ僅ニ辨スルニ
野内	二里三丁五十二間	馭口堤川アリ橋ヲ提橋ト云フ青森縣在廳ノ地ナリ陸奥國第一ノ港ニシテ戸數三十三近レ此ヲ距九十三里餘岩本山ト云高山アリ岩本神社即チ國幣小社ナリ此岩本山ハ津輕郡一ノ高山嶽ニ特立シテ其容チ駿河ノ富士ニ似タリ
青森		

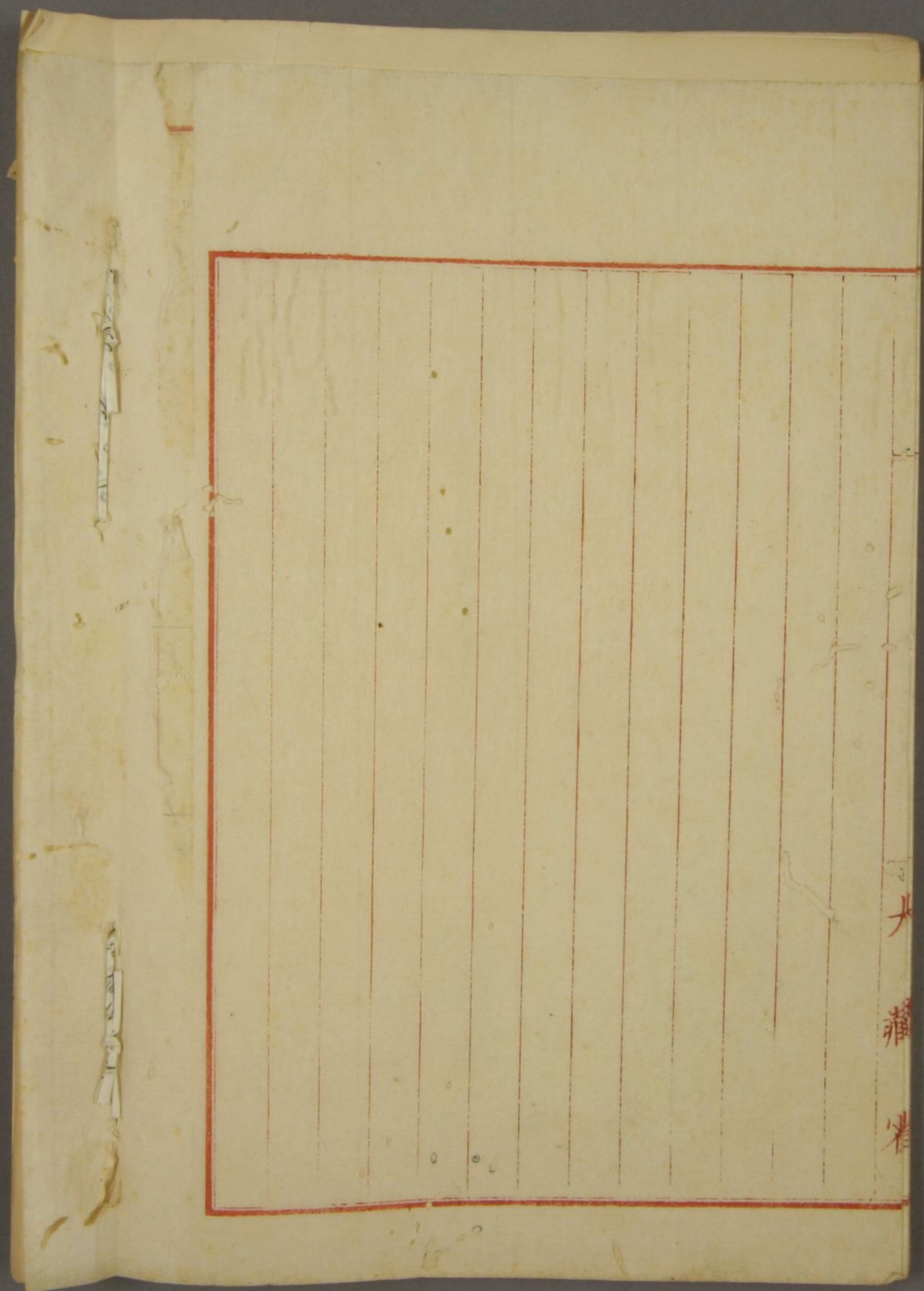
函館	宮古一日五十五里	故ニ津輕富士トモ云フジ見テモフシトヤハハ陸奥ノ岩本山ノ雪嶺定家縣社ハ喜知鳥ノ神社此社ノ近傍ニ己ノ役函館福山等テ戦死セシ官軍ノ墳墓アリ此港ヨリ函館(海上二十五里余小汽船ニテ隔日ニ往来セリ)
青森	函館(海里五十二里)	
津還幸海路		

宮古

淨陀泊ノミニテ河上陸無之

橫濱ノ三百五十里
釜石ノ十四里

淨陀泊是ノ横濱ノ河歸船ノ積最
付且ニヨリ釜石ノ河歸船 淨陀泊



大
雅
卷